

平成30年度第1回

函館市榎法華地域審議会会議録

(平成30年7月24日)

函館市榎法華支所

平成30年度第1回函館市榎法華地域審議会会議録	
開催日時	平成30年7月24日(火) 16時00分～16時54分
開催場所	函館市榎法華支所 旧議場
議 題	1 前回の意見等の集約結果と取組状況について 2 平成29年度合併建設計画地域別事業実績報告について 3 地域振興全般に関する意見交換 4 その他
資 料	資料1 平成29年度第3回函館市榎法華地域審議会 意見・要望等に対する取組状況 資料2 平成29年度合併建設計画地域別事業実績一覧
出席委員	◎木下恵徳委員 ○北村和彦委員 川口英孝委員 熊谷るみ子委員 小市公三委員 小市光子委員 五ノ井孝司委員 長崎賢一委員 中村千重子委員 中村麻友委員 毛綱珠枝委員  (◎会長 ○副会長) (計11名)
欠席委員	岡山弘一委員 亀沢正史委員 中村元勝委員  (計3名)
事務局 出席者の 職・氏名	函館市榎法華支所 支所長 渡邊達也 地域振興課長 小辻淳一 市民福祉課長 山本潤一 産業建設課長 木戸幸治 地域振興課主査 川口勝也 地域振興課主事 天満真吾 函館市教育委員会 榎法華教育事務所長 佐々木 真 函館市企画部 計画調整課主査 坂田 悟 計画調整課主事 上田翔太 (計9名)
そ の 他	傍聴者 (計1名)  報道機関 北海道新聞社 (計1社)

○事務局 本日はご多用のところ出席いただき、お礼申し上げます。  
開会にあたり、木下会長より挨拶をお願いします。

○木下会長 平成30年度、第1回目の地域審議会の開会にあたり、一言挨拶を申し上げます。  
皆様には、大変お忙しい中、またコンブ漁も始まり気ぜわしい中、出席賜りお礼申し上げます。  
本日の議題は、「前回の意見等の集約結果と取り組み状況について」「平成29年度合併建設計画地域別事業実績報告について」「地域振興全般に関する意見交換」が主な内容となっている。  
皆様の忌憚のない意見、提言等をいただきながら進めて参りたい。よろしくをお願いします。

○事務局 続いて、渡辺支所長より挨拶を申し上げます。

○渡辺支所長 楸法華地区においては、いよいよ盛漁期に入るこの時期に、委員の皆様には何かと多忙の中参集いただきお礼申し上げます。

さて、今年で2回目を迎えた、楸法華小学校・中学校と合同のふれあい大運動会は、絶好の好天の下に地域の皆様のご協力により盛大にそして楽しく開催することができた。この場をお借りしてお礼を申し上げます。来年は今年以上に充実した運動会になるように、また地域が一体となれる運動会になるように頑張りたいと考えている。

話は変わり、この数年間、この時期になると、全国的に大雨や集中豪雨による被害が発生しており、今のところ函館市においては、あまり被害は出ていないが、ご存じのとおり西日本においては記録的な被害が出ている。また、加えてこれも記録的と言われている猛暑が続いており、異常気象が異常と言えない状況となっているかと危惧しているところである。皆様には、日頃から気象警報などの情報に十分注意していただくとともに、支所としても適宜情報を提供していきたいと考えているので、これからもご理解とご協力をよろしくをお願いします。

本日は平成29年度の合併建設計画の事業報告などについて説明をさせていただき予定となっているが、引き続きより良い地域づくりのためにご意見やご提言をいただければと考えているので、よろしくお願ひ申し上げ、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

○事務局 4月1日付けで人事異動があったので、紹介をする。

- ・楸法華支所産業建設課長 木戸 幸治
- ・企画部計画調整課主任主事 上田 翔太

出席委員の報告をする。出席者11名、欠席者3名で、委員の半数以上が出席しているので地域審議会の設置に関する規定第8条第3項の規定により、会議が成立していることを報告する。岡山委員、亀沢委員、中村元勝委員については欠席である。

以降の進行については、地域審議会の設置に関する規定第8条第2項の規定により会長が会議の議長を務めることになっている。木下会長、よろしくをお願いします。

○木下会長 ただ今から「平成30年度第1回函館市楸法華地域審議会」をはじめます。

議題1「前回の意見等の集約結果と取組状況について」事務局より報告願う。質疑等については、報告が終わってから一括で受けるので、よろしくをお願いします。

○小辻課長 それでは、3月26日に開催された平成29年度第3回地域審議会において、委

員の皆様から出された意見・要望等に対する取り組み状況について、説明する。

2点出ており、一つ目は、川口委員と北村委員から、「現在、榎法華地域においては、山林の伐採が盛んに行われている。そのため、伐採地の土砂の流出が懸念されるので道路の側溝の整備などを考えてもらいたい。」これに関連して、「伐採がかなり進んでいるため、風向きと強さが変わってきている。併せて、土砂災害の危険地域の見直しを要望する。」という要望であった。この要望に対し、3月26日の地域審議会では産業建設課長から、「今後も点検等を行いながら、各方面と相談のうえ対応していく。」と答弁している。

二つ目は、長崎委員から、除雪関係について、「雪の取り残しが多いように感じる。自宅前の道路で計測しているが、1回の除雪で3センチほど路面に残り、それが積み重なって相当の量の残雪になる。これは除雪しきれないのか、それとも意図的なものなのかを次回の地域審議会までに確認願いたい。」との意見があった。今回、取組状況を資料に記載させていただいているが、「支所管内の除雪については、降雪時に迅速な対応が必要となることから、現在2社に業務委託し除雪をしているが、早朝から除雪を開始するため、除雪作業中の継続的な降雪や、路面の高低差などにより、多少の取り残しが発生したものと考えられる。」という回答である。資料の説明については以上である。

○木下議長 ただいまの報告に関し、何か質疑・意見等があったらお願いします。

○北村委員 ハザードマップについて、現在のものは、これだけ木の伐採が急激に進む以前のハザードマップだと思うので、再度、特に暴風も想定したハザードマップの見直しを行ってはどうか。

また、この度の西日本の災害において、行政がハザードマップを作っているが、住民には伝わっていない事例があったようなので、この地域での周知徹底をお願いしたい。

もう一つ、防災行政無線について、当地域においては各家庭に戸別受信機があるので、例えば風や雨の場合でも聞きにくいということはないと思うが、それでも大雨や強風の時に果たして全家庭できちんと放送が聞き取れているのかどうか。これも、ある西日本の地域では降雨や風が吹いた時に屋外での放送の聞こえ具合を実験していたテレビを見たが、それも検証しておいた方が良いかと思う。これは要望である。

あともう一つ。除雪について、2社の業者に委託されていると聞いているが、除雪箇所の優先順位があるだろうが、作業員の友人関係に行くなど、どうも公私混同があるように見受けられる。また降雪がないのに動いている時もある。当然、学校や公共施設が優先されるべきだが、住民から、どうもおかしくないかとの意見も多々聞こえてくるので、これらを徹底して指導していただきたい。

○長崎委員 除雪の件について、この取組状況の答弁はまったく答弁になってないと思う。この答弁はたぶん言い訳にすぎないと思う。この道路の高低差や路面状況などは、何年も作業しているから覚えていると思う。

○木下議長 除雪しきれないのか、意図的なものかを確認願いたいとのことだが、返答では答えていない。要はきれいに除雪してほしいという要望だと思う。

それでは、次の議題2「平成29年度合併建設計画地域別事業の実績報告等について」事務局から説明願う。

○小辻課長 平成29年度合併建設計画地域別事業の実績報告等について、資料2に基づき、各担当課長から説明させていただく。説明の順番は、産業建設課、市民福祉課、教育事務

所、最後に地域振興課の順で説明する。

○木戸課長 産業建設課関連の事業実績報告をさせていただきます。

まず「1. 多様で力強い産業を振興するまちづくり」の「(2) 水産業の振興」の項目では、実績額が3, 237千円となっており、これは漁協が例年行っている「ウニの深浅移植事業」と「ナマコの種苗放流」に対する市の補助金額である。平成29年度については70万個のウニの深浅移植、2万5千個のナマコの種苗放流が行われている。また、その他に、ヒラメの稚魚2万9千尾、クロソイ4千尾の放流も行われている。

次に「(3) 農林業の振興」の「市有林の整備」の項目では、実績額が177千円で、これは絵紙山地区3. 22ヘクタールの下刈りが本庁農林水産部の事業として行われている。

次に「(5) 観光の振興」の項目では、実績額が6, 018千円で、これは観光施設維持管理（ホテル恵風改修事業）として、客室のクロスの張り替えなどの工事を行った。

次に「2. 安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」「(2) 消防・防災・生活安全の充実」の項目では、河川の整備として「矢尻小川改修事業」を行っている。これは旧榎法華消防署付近から新浜町を通して、矢尻川に注ぐ矢尻小川の水量を分散する工事であり、平成25年度から継続して実施している。平成29年度の実績額は25, 100千円である。

次に「(3) 交通・情報ネットワークの形成」の項目では、港湾の整備として、「榎法華港改修事業」を行っている。これは国の港湾工事に対しての市の負担分である。港湾工事については越波対策として、東防波護岸の嵩上げ改良などを平成21年度から進めている。平成29年度は岸壁の拡幅工事を実施しており、実績額は8, 842千円である。

以上が産業建設課関連の平成29年度の実績である。

○山本課長 市民福祉課関連の事業実績報告をさせていただきます。

「3. やさしさとぬくもりのあるまちづくり」「(3) 高齢者福祉の推進」「高齢者送迎サービス事業」は、実績額1, 645千円である。のべ送迎数については730人で、その内訳は榎法華地域内の利用が703人、恵山地域までの利用が27名であった。

「高齢者温泉等入浴優待事業」は、実績額1, 029千円で、利用枚数は2, 573枚であった。

「混合型介護付き有料老人ホーム運営費補助事業」は、実績額28, 705千円である。入居者数は決算時の3月末現在は途中亡くなった方もいるので17人だが、実質は18人である。

「その他諸経費（有料老人ホーム修繕）」は、実績額1, 589千円で、ヒーターマイコン制御盤の修繕、浄水用の給水ポンプ修繕を行った。

「5連携と交流によるまちづくり」「(1) 住民参加の推進」「集落維持対策事業（榎法華地区パワーアップ事業）」は、実績額243千円である。草刈り業務は延べ件数13件、除雪業務は延べ件数89件であった。

○佐々木所長 教育事務所関連の事業実績報告をさせていただきます。

「4. 生き生きと学び地域文化を育むまちづくり」「(1) 生涯学習の推進」の欄の「ふれあい大運動会事業」は、初めて小・中学校と合同で開催し、実績額102千円で、延べ120人の参加があった。

「体験教室事業」として7・8月に「陶芸教室」、2月に「バレンタインチョコを作ろう」を実施し、実績額合計45千円で、20人の参加があった。

「健康推進事業」として、6月と9月に「恵山登山」を実施し、実績額37千円で、51人の参加があった。

「高齢者ふれあいいいきき学級事業」として、高齢者を対象に7月と3月に「健康講座軽運動」、そして高齢者と小学生を対象に12月に「文化伝承講座鏡もちを作ろう」を実施し、合わせて48千円で、40人の参加があった。

「4地区交流パークゴルフ事業」として、10月に恵山シーサイドパークゴルフ場で戸井・恵山・楸法華・南茅部の東部4地区住民を対象に行い、実績額17千円で、32人の参加があった。

「新春書き初め会事業」として、1月に恵山総合体育館で、戸井・恵山・楸法華の3地区の小・中学生を対象に実施し、実績額26千円で、32人の参加があった。

次に「5. 連携と交流によるまちづくり」「(1) 住民参加の推進」の欄。「総合センター改修事業」として屋上防水工事を実施し、実績額9,828千円であった。なお、資料に記載していないが、アスベスト対策事業として総合センターの煙突改修を実施し、実績額5,487千円であった。また、総合センターの利用者には不便を掛けたが、階段の壁の修繕を実施し、実績額1,104千円であった。

最後に「(2) 国際交流・地域間連携の推進」の欄の「友好地域子ども交流会事業」は、楸法華地区と青森県の風間浦村の小学生の交流事業であり、8月に函館市で行い、実績額190千円で40人の参加があった。

○小辻課長 地域振興課関連の事業実績報告をさせていただく。

「2. 安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」「(2) 消防・防災・生活安全の充実」「防災無線システム経費」は防災無線の維持経費として、実績額2,523千円である。

「(3) 交通情報ネットワークの形成」「地域内交通確保対策事業」は楸法華地域福祉バスの運転の業務委託料ほか、地域福祉バスの維持関連経費として、実績額1,859千円である。

「(5) 生活環境の整備充実」は企業局の事業で、「配水ポンプの整備（簡易水道）」として、道道元村恵山線の元村送水ポンプの移設ならびにそれに伴う配水管の移設工事を行い、実績額9,307千円であった。

○木下議長 ただ今の説明に関し、何か質疑・意見等があったら願います。

○北村委員 ウニとナマコの放流について、いつもこのように何万個放流したとの報告があるが、それに対して漁の実績はどうなのか。放流後に育成の状況、最終的に売り上げがいくらあったのかによって費用対効果が現れる。なぜこんなことを言うかという、さっきも申し上げたが、あれだけ木を伐採して泥があれだけ流れたら昆布、ウニ、ナマコに影響がないわけがない。ただ闇雲に放流せずに、海の環境や場所などを分析して、無駄にならず、もう少し効率を上げるため、費用対効果を見つめる時期じゃないかと思う。これも要望として聞いていただきたい。

○木戸課長 今の意見を踏まえ、今後諸事の整理を進めたいと思う。

○木下議長 他にないか。なければ次の議題3「地域振興全般に関する意見交換」である。委員から何かあるか。

○川口委員 八幡川の防災工事が終了してから、番屋川の防災工事をするということで、地権者を集めて、もう10年くらい前になるが、さっぱり動きがなく進捗状況が分からない。それから、我々の記憶にあるが、水無沢の土砂災害はひどかった。それから富浦の道路が

一部遮断されたことがあった。それから八幡川の決壊では死亡者も出ている。それから海向山も土砂崩れもあった。矢尻川は、私が子どもの頃は木の橋で、何度も流木が流れてはぶつかって壊れたのも記憶にある。

我々戦後間もない頃の燃料に薪を使っていた時代よりも、今は山が荒廃していると思うので、恐ろしい豪雨が来た場合大変なことになると思う。

その辺も併せて検討していただきたいと思う。

○木戸課長 一点目の番屋川の事業の関係について、平成30年度については用地調査、地質調査を行って、その後実際の事業に入るとのことで渡島総合振興局から伺っている。進捗状況については随時報告させていただきたいと思う。

○木下議長 以前、質問があり同じ返答をしているが、なにも進捗していないということか。

○渡辺支所長 平成29年度に同じ質問が川口委員からあり、渡島総合振興局に確認したところ、平成30年に用地調査を行い、整備についてはさらにその後になるとのことであった。今年度、正に調査を行っている段階で、まだ調査結果が出ていないことから、前回の答弁後からは進捗していないが、決して今現在が放置状況ではない。

○川口委員 もう調査はしているはず。事業が止まっている理由を教えてください。

○木戸課長 もう一度状況を整理して報告させていただきたい。

○北村委員 これも要望だが、小中学校の取扱について、一時は恵山との合併という話がある中で、戸井では2021年度から道南初の小中一貫の義務教育学校に舵が切られ、準備が進められている。椴法華の現状としては、運動会も公開授業も小・中学校合同で実施していることから、椴法華も戸井に倣って小中一貫を目指してはどうか。これは要望だが、戸井はどのような順序で、小中一貫になり得たのかということの情報を集めていただきたい。

それで恵山との合併については、教育振興基本計画の基本目標の2に「地域とともにある学校づくりの推進」というお題目を掲げてくれたので、もはやこのお題目の下では恵山と椴法華の合併はないのかなと判断している。

そうすると、これだけ児童・生徒数が少なくなったら小中一貫校に向け、地域をあげて取り組むべきではないかと思う。

少なくとも、現状においては戸井がどうやって成功したのかと言う情報を得て、それからプロジェクトを作るのか、教育委員会と相談になるのかという、プロセスはあろうかと思うが、椴法華もその気構えはあるという旗をそろそろ振っても良いのかなと思うので要望する。

○佐々木所長 戸井は、日新、戸井西、潮光、日新中学校の4校が小さくなって、戸井の地区として一つにしてほしいと要望があがった。その中で教育の制度が変わったことにより、義務教育学校ができるようになり、現在、教育委員会ではそれで進めており、平成33年4月開校に向けて準備を進めるということで、学校や地域の人たちと統合の準備委員会を行っているのが現状である。

北村委員の要望は、椴法華も戸井のように小中義務教育学校、一貫校という形でできないかという要望があると踏まえてよろしいか。

- 北村委員 そうである。
- 木下議長 併置校にするという意味も含めているか。
- 北村委員 含めている。
- 木下議長 いろいろ教育事務所の方で情報等を提供していただければと思う。
- 小市委員 防災行政無線による避難所開設の放送はあるものの、高齢者などは避難する交通手段がないので、避難支援のシステムを検討してほしい。
- 渡辺支所長 榎法華地域だけではなく、全国的に問題になっていることだと思う。支所としても対応しきれないことがあるので、地域、消防団、町内会の方などができることを地域防災会議において提案していきたい。心配はそのとおりだと思う。
- 小市委員 矢尻川について、木が川に入り込んでいる。水が道路にあふれる恐れがあると思うので対応をよろしく願いしたい。
- 木戸課長 現場の方を改めて詳しく調査して関係機関と調整を図っていきたい。
- 北村委員 富浦と元村の間の道路は、時化ると波が上がる。通行止めを出すのは誰か。
- 木下議長 道道だから道の管轄だと思うが、通行止めなど状況を判断する仕組みを確認しておいてもらいたい。
- 北村委員 通行止めになったら元村が孤立状態になる。地域会館も使えなくなってホテル恵風に避難するのは良いが、そこまで避難する足がない。  
災害は一箇所だけではなく総合的に考えていかないとだめだと思う。  
ここが通行止めになったら二分されるけれど、その生活の安全をどうやって守るのかを、ハザードマップのこともあるが、徹底して考えていかないといけない。  
万が一、軽トラが通ったときに大波にさらわれたいとは言えないし、さらわれなくても大きい石が波に混じってきてケガをすとか想定される。そういうことを、今、西日本の災害があるからこそ、我々は漁師町に住んでいるんなことを総合的に考えていかないと、人命を失ってから考えたのでは遅いと感じるので、早急に対応していただきたいと思う。よろしく願いする。
- 木下議長 次回に概要くらいはまとめて報告いただければと思う。
- 北村委員 行政だけに投げるのではなく、例えば我々だって地域に住んでいる人間が、その必要性を感じなければならないのであるならば、行政なり町内会を巻き込んで、こと災害に関しては、ましてやここは高齢者の割合が非常に高いところで、先ほどあったように、移動もままならない状況がある。そうすると誰かが誰かを、助けて逃げるような環境作りをしておかないと、有事の時にはできない。これは地域全体で考えていかなければならないことだと思うので、地域一丸でやるべき。お願いする。



○木下議長 向こう三軒両隣ではないが、隣近所が助け合い避難するように、普段から個々にやっておかないとだめだと思う。これは組織を作って実行するのではなく、地域の人たち一人一人がそれを認識していないといけないと思う。

ただこれは誰かが音頭を取って引っ張ってくれないとやりにくいことでもあるので、連合町内会や市民福祉課などでよく相談して、できれば早い時期に策定していただければと思う。

○渡辺支所長 防災会議で、消防団や町会の方も来るので、そこに提起したいなと考えている。

○木下議長 消防団ばかりに負担をかけると、他の事故があったときにできなくなるから、動ける人、一人一人が出来るような体制づくりが必要。みんな知り合っている仲なのだからうまく利用して活かしてもらえればと思う。

他にないか。

○中村委員 椴法華から恵山に向かう国道沿いの右側の山の斜面で、結構広い範囲で木が滑り落ちている部分がある。発生した時期は分からないが、そのまましておくのはどうなのかと思うが、整備する予定はあるか。

○川口委員 3年位前の18号台風の時じゃないか。

○木下議長 早急に調べて対応していただきたい。

支所でも把握できない部分があると思うので、今のような情報提供をしていただきたいと思う。

他にないか。

無ければ次の議題4「その他」であるが、事務局から何かあるか。

(なし)

みなさんのご協力のもと、全て終了した。

次回の開催時期は、10月を予定している。議題内容については、「前回の意見等の集約結果と取り組み状況」「平成31年度地域別事業計画(案)について」「地域振興全般に関する意見交換」を考えているが、日程も含め、正副会長に一任願いたい、よろしいか。

(はいの声)

○木下議長 以上をもって、平成30年度第1回函館市椴法華地域審議会を閉会する。

午後4時54分終了